

2013 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	法学部	身分	准教授
氏名	原 正人		
NAME	HARA Masato		

1. 研究課題

(和文) 近代中国知識人言論空間の再検討

(英文) Rethinking of Modern Chinese intellectuals' sphere of speech

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

(和文)

報告者はこれまで、近代中国における知識人を言論、メディア、教育機関といった多方面から分析することで、彼らの社会的位置の変遷と言論の思想的位置づけの関連について興味を持ち、研究をまとめてきた。ところが、近代中国、とりわけ 1920 年代におけるメディアはいわゆるマス・メディアの発生最初期にあたり、言論界に影響を及ぼしうるメディアが都市、郷村など各社会に多重的に存在していた。彼らの思想を探るためには、そうしたメディアの位相をふまえることが前提となると考えられる。そこで本研究では、都市部からやや離れたメディアに焦点を当て、言論分析のための予備的調査を行った。

今回は諸々の理由で基層社会の資料館などに調査に赴く時間をとることができなかつたため、台湾・中央研究院近代史研究所などにおいて資料を収集するにとどまった。ただしその調査の過程で、中央研究院および京都大学などにおいて「言論の自由」という言葉がどう用いられてきたかについてデータベースにアクセスする機会に恵まれ、一定の収穫を得た。

現在、そうした資料を閲読・解析している段階にあるため、この問題についての論文の公表などは少し時間を必要となる見込みである。ただし下記の通り、今回の研究費によって収集できた資料を用いて、ほかの原稿やレビューなどをまとめることができたことを付言しておく。

(英文)

This study is focused on modern Chinese media, especially those in the rural area, to reanalyze modern Chinese thought. I went to some Archives such as Institute of Modern History, Academia Sinica, Acadimica Historica etc, to research on related documents. I already published two dissertations, and will publish a dissertation about Carsun Chang, and a historical review by the end of this year.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>原正人「民国初期中国的“後国民”論 —以中国青年党為例」</p> <p>（中国現代思想史研討会（兼中国現代史学会年会）、於：中共秦皇島市委党校、2014年8月）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p> <p>① 原正人「五・四運動と研究系」 斎藤道彦編著『中国への多角的アプローチⅡ』中央大学出版部、2013年所収、査読無／②原正人「民国初期知識人界における「ポスト国民」論—中国青年党を中心に」 斎藤道彦編著『中国への多角的アプローチⅢ』中央大学出版部、2014年所収、査読無／③「原正人「もうひとつの「日本留学」—張君勱の日本留学を例として」土田哲夫編著『近現代東アジアの文化と政治』中央大学出版部、2015年度内出版予定</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p> <p>「2014年の歴史学界—中国・近代」『史学雑誌』掲載決定済（校正中、2015年6月出版予定）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>